大分市立
野津原小学校
学校だより

のつはる

主体的に学び 行動できる児童の育成

第3号
令和8年5月15日
校長 水田 匡彦

■連休明けの様子

五月の連休が明けました。お子さんの様子に変化は見られないでしょうか。野津原小学校は単学級のため、クラス替えに伴う人間関係の変化はありませんが、新しい学級担任や新しい生活環境で、知らず知らずのうちに体が緊張し、疲れが溜まっているかもしれません。長い連休で緊張が解けると、心身に疲れが出やすくなります。今一度、子どもたちに変化がないか、困りはないか、温かく見守っていただければと思います。何かございましたら、遠慮なく学校に相談いただければと思います。学校でも、子どもたちに何か困りがあるのではないかという目線で、見守りを続けたいと思います。

五月に入り暑い日が続いています。学校では、今後、熱中症指数を測定し、外遊びや運動の制限を行うなどの熱中症対策を講じてまいります。なお、ご家庭でできる熱中症対策もございますので、ご協力をお願いいたします。生活習慣として十分な睡眠時間の確保と朝ごはんの摂取が大変重要です。また、日々の対策として、帽子着用とこまめな水分補給が有効です。帽子と水筒を、忘れずに持たせていただきたく、よろしくお願い申し上げます。

■運動習慣とおうちトレーニング

体力向上取組の一環として、今週（5/11～5/15）はダッシュタイムに取り組みました。バトンをつなぎながら得点を競うチーム戦。子どもたちが走っている姿から、一生懸命な様子や楽しんでいる様子が伺えました。中休みや昼休みには、六年生を中心に運動場で運動する姿がたくさん見られます。大人になると運動から遠ざかる人が多くなりますので、できれば子どもの時に運動習慣をしっかりと身につけてほしいと願います。

さて、今年度も、「おうちトレーニング」として、ご家庭での毎日の運動を推奨していますが、子どもたちの取組は如何でしょうか。目的は体力向上と、ご家庭でのコミュニケーションの充実です。お時間がございましたら、肩もみをしてもらいながら学校での出来事等を聞いていただければと思います。なお、おうちトレーニングの形骸化やマンネリ化について、少し懸念しています。他の宿題と同様、目的を理解したうえで実践し、きちんと成果を獲得してほしいと思います。もしも、成果が得られていないようであれば、形骸化しているか、自分で上手にできていないかの何れかだと想像します。学校では、上手にできるように指導しますので、お困りがあれば連絡下さい。

■決めつけと思い込みの危うさ

人権問題に関する研修を受ける機会がありました。講演では、差別行為に至るには、①決めつけ・思い込み、②偏見、③排除、④差別行為、という段階があることを学びました。偏見、排除、差別行為が不適切な行動であることは明白ですが、決めつけと思い込みの危うさについても痛感させられたところです。自分が考える常識は、自分の経験から獲得したものですが、必ずしも普遍的な常識ではありません。自分の常識が他者への偏見を生む思い込みになっていないか、発言前に一度立ち止まって確認する習慣を身につけたいと考えます。

学校では、仲間外れの問題を解消してまいります。仲間外れは、排除そのもの、すなわち、放置すると差別行為につながるリスクが高まるからです。仲間外れの構造は、誰かを排除することで、自分たちの安心や団結を守ろうとするもの。極めて幼稚で身勝手な仕組みです。ただ、仲間外れにする側も、実は不安と困りを抱えているのかもしれません。子どもたち一人ひとりの内面を見守り、安全、安心、居心地がよい学校づくりに努めてまいります。